

理事会議事録

令和6年1月24日17時00分～19時00分、大阪医科薬科大学薬学部循環病態治療学I研究室 (Web会議)にて、令和5年度 第2回 (一社) 日本TDM学会理事会を開催した。

定刻に、菅原満が議長席につき、本理事会はWeb会議システムにて出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明ができる環境であり、その他何等の異状がないことを出席者相互で確認した。

本理事会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数 12名

本日の出席理事数 10名 池田賢二、加藤隆児、栄田敏之、志賀剛、菅原満、内藤隆文、本間真人、増田智先、三浦崇則、矢野育子 (17:32出席) (加藤隆児以外の10名はWeb会議システムにより出席)

本日の欠席理事数 2名 家入一郎、寺田智祐

監事総数 2名

本日の出席監事数 2名 越前宏俊、谷川原祐介
(Web会議システムにより出席)

本日の欠席監事数 0名

第1号議案 第39回日本TDM学会・学術大会報告

大会長栄田敏之より、第39回日本TDM学会・学術大会収支を含めた2023年度収支決算報告があった。また、共催の開催をオーガナイズすることが困難になってきている中であるが、大会の実りある継続のためには参加者増員対策とセミナー共催の策定に努めること、なにより魅力的なプログラムを構築する必要がある旨、反省点として報告された。

第2号議案 第40回日本TDM学会・学術大会報告

大会長菅原満より、2024年7月14日(日)～15日(月)に、北海道大学(高等教育推進機構, 医学部百年記念館)で開催予定である、第40回日本TDM学会・学術大会準備状況についての報告があった。資料に基づいて、会場準備、プログラム・シンポジウム準備、懇親会準備、他学会との共催準備について報告があり、さらなる企画案について提案を求む旨依頼があった。また、期間中に理事会を開催し、理事・監事の改選を行う旨報告された。また、総会については、決議事項を予め評議員宛の郵送で行い、現地総会にて報告することが確認された。

第3号議案 第41回日本TDM学会・学術大会報告

大会長池田賢二より、2025年7月26日(土)～27日(日)に、大阪大学(コンベンションセンター)で開催予定である、第41回日本TDM学会・学術大会準備状況についての報告があった。資料に基づいて、会場準備、コンベンション会社の選定状況、懇親会準備、開催形式の提案、大阪万博EXPO2025共創チャレンジへの参画状況について報告があり、実行委員会メンバー、参加費などの予定について議論された。

第4号議案 第42回日本TDM学会・学術大会会長について

議長は、第42回日本TDM学会・学術大会会長を近日決定する必要がある旨説明し、開催地などが審議された。

監事谷川原祐介より、交通の便なども考慮してローテーションのように各地を開催地とする必要性は無くなってきている旨提案があった。全会一致で賛同され、開催地は交通の便も考慮して検討し、Web開催も含めて検討していく旨で承認された。

第5号議案 編集委員会報告

編集委員長本間真人より、資料に基づいて9月、12月、3月(予定)発刊の学会誌内容について報告があった。また、今後の在り方として冊子の廃止およびオンライン化について諮られ、現時点の冊子準備、契約状況などを確認した上で導入時期を決める旨、全会一致で承認された。

第6号議案 「TDM研究」優秀論文賞(住友ファーマ賞)選考規定改定案について

優秀論文賞等選考委員長矢野育子より、「TDM研究」の原著論文数が減少していることから、TDM Journalに掲載された原著論文も選考対象とする旨、「TDM研究」優秀論文賞(住友ファーマ賞)選考規定について諮られ、全会一致で承認された。改定案は、選考対象に「Therapeutic Drug Monitoring」誌に掲載された原著論文を追加したものである。

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は19時00分閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次に記名押印する。

令和6年1月24日

一般社団法人日本TDM学会理事会

出席代表理事 菅原満

出席監事 越前宏俊

出席監事 谷川原祐介